

## きょうの米原高校(6月18日)

梅雨に入り、毎日のように雨がふります。なんとなく外に出るのが億劫な気持ちになってしまったり、濡れた靴や制服のケアが大変だったりと憂鬱な気持ちになりがちな梅雨の時期ですが、様々な植物にとっては大きく成長するには欠かせない温度と湿度が十分に与えられる恵みの季節でもあります。雨ならではの、みずみずしい緑の濃さにも眼を向けて、自然の大きな成長を感じてみませんか？雨の中ですが、1年生の理数科のみなさんは、野外実習の一部分を学習していました。



朝からの雨はまだ降り続いていますが、小やみになった時間帯を見計らって観察に出ました。学校前の多行松(美し松、アカマツの変種)について説明を聞いていました。

こちらでは、学校の門柱の石の種類についての地学分野の観点からの解説です。



深坂から、学校横の広場につながる断層についての解説を行っています。米原の地形について知ることができました。

学校に戻り、生物教室で、米原周辺の植生についての解説と、樹木の葉のスケッチを行いました。



1年生の理数科のみなさん、米原高校の周辺の自然はいかがでしたか？